

平成27年10月定例記者会見要旨（平成27年9月30日開催）

1. マイナンバー制度に対する見解や事務の進捗状況、セキュリティ対策等の課題について

行政手続きの際に各種証明書等の添付が省略できるなど市民のかたの利便性向上に加え、行政事務の効率化が図られるなど、さまざまな効果があるものと期待している。

事務作業としては、9月議会で議決された補正予算によりカギ付の保管庫等の関連機器の整備を進めるとともに、10月中旬からの通知カード送付に向けたデータ作成に取り掛かる。市民のかたには10月中旬から11月末までの間に通知カードが書留郵便にて配達される予定である。

世論調査の結果からは、制度内容についてまだ十分な周知が図られているとはいえ、今後通知カードと個人番号カードの違い等も含め、広報やホームページ等を用いて周知に努めたい。

また、マイナンバー制度における情報セキュリティに多くの国民が関心をお持ちだと思いが、市では、カードへの偽造防止措置のほか、関係職員に対する研修の実施、市民のかたへのマイナンバー利用に関する注意喚起、不正アクセス等による個人情報の漏えいを防ぐためのセキュリティ対策の充実等に努めたい。

2. ゆるキャラグランプリ 2015 の途中経過について

現在、本市のさかいでまろは苦戦中であるが、県内上位進出を目指して巻き返しを図りたい。

加藤副市長）さかいでまろの後援会「TAEM さかいでまろ」が先日、番の州企業にPRに訪問した。番の州企業は全国的に事業所を展開しており社員間の交流等も多いことから、まろのさらなるPRにつながればと期待している。

3. 中・西讃地域への新県立体育館建設の要望について

丸亀市を中心とする中・西讃の4市4町が、県知事に対して新県立体育館の建設について要望を行ったとのことであるが、県内を二分するような組織的な要望活動は慎重に行うべきと考える。本市も今後早い段階で県に対し要望を行いたい。